

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第40回）の概要

1 開催日時

令和4年11月1日（火） 14:00から15:00まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第4会議室

3 出席者

評価委員会委員： 5人

事務局： 5人

法人： 15人

4 内容

(1) 県健康福祉部理事挨拶

(2) 議事

① 地方独立行政法人山口県立病院機構の第4期中期目標（案）について

② 山口県立総合医療センターの機能強化について（報告）

- ・ 事務局から資料1～2、参考資料1～2について説明

主な質疑応答・意見

[●委員 ○事務局 □法人]

- 医療の提供について、県立総合医療センター基本構想検討委員会では、5疾病6事業別に整理されているため、中期目標においてもそのように記載し、基本構想と中期目標・中期計画が齟齬のないようにしていただきたい。
- 基本構想、中期目標、中期計画は同じ方向性を向いたものとなるよう検討していきたい。
- 中期目標の前文に、6事業のうち5事業のみが記載されており、「小児医療」が記載されていないが、本文では6事業別に整理されているため、前文にも、小児医療を記載すべきと考える。
- 前文に「小児医療」を追記し、6事業の記載となるよう検討したい。
- 県内の急性期病院には精神科の常勤医がいないところがほとんどだが、各診療科で処置を行う際、精神科のサポートが必要な場合があるので、県立病院として効果的な連携ができるようにしていただければと思う。

- 精神疾患については、例えば大学と身体合併症患者のケアについて議論を重ねているところであるが、県内常勤医の数がまだ不足しているという現実がある。なお、精神科救急医療を24時間体制で実施する場合、常勤医が4人は必要であるが、こうした状況を考慮すると少し時間がかかるというのが現実だと考えている。

こころの医療センターでも人材交流をしながら、機能強化に向けてサポートすることは可能であり、今後もしっかり連携をとっていきたい。

- 県立総合医療センターの機能強化において、災害用臨時治療スペースの整備を考えられているようであるが、感染症対策も考慮したものとなるよう検討していただきたい。
- その方向で今後検討していきたいと考えている。

- 働きやすい職場環境づくりが大事であるが、ICTの活用により、医療従事者の負担がどのように軽減されるのか。また、タスクシフト/シェアについて特定行為研修を修了した看護師の活用など何か考えがあれば教えていただきたい。

- 現在、測定したバイタルサインを電子カルテへ自動的に取り込めるシステムを導入しており、今後は、看護計画や看護記録の作成に係る業務負担を軽減させるためのシステム導入を図っていきたい。

特定行為については、看護部を含めて議論しており、特にICUにおいて特定行為を行うことができる看護師の育成が喫緊の課題である。また、研修者を養成できる施設認定などについて今後、検討していきたい。

- 患者情報の適正管理と情報セキュリティへの意識向上について努めていただきたい。

- 内部統制において情報管理リスクについて取り組んでおり、例えば、電子カルテを閲覧した者の履歴が全てわかるなど、情報漏洩について万全を期している。他の病院の事例も報道されており、情報セキュリティを含めた内部統制を確実に図ることが我々の使命と考えている。

- 県が法人に指示する中期目標と、これを受け、法人が策定する中期計画の期間は、来年度からの4年間であり、一方、基本構想は建て替えを基本とする長い期間を想定するものであり、事務局が回答したとおり、どちらも同じ方向性を向いたものになると認識している。

基本構想検討委員会では、5疾病6事業を中心に具体的な医療機能等について検討されており、中期目標においても、5疾病の分野について基本構想と同様にしっかりと書き込むことも必要ではないかと考える。

また、現在、国において新興感染症への対応等が検討されており、今

回の中期目標はそういった結果が出る前であり、そして、基本構想を策定する前に定めることとなるため、今後、基本構想や基本計画等の策定に伴い、中期目標に変更の必要性が生じた場合、適切に変更されるのか、今回の中期目標への追記の必要性とあわせて県の事務局に考えを尋ねる。

- 中期目標素案については、過去の例や他県の計画等も参考に策定したものである。一方で今回は、基本構想等の策定を進めており、委員から5疾病について追記すべきとの意見があれば、事務局としてもその方向で対応したいと考えている。また、今後も構想等の策定状況により修正の必要性が生じた場合にも、適切に対応したい。
- 中期計画の策定に当たり、国において、医療計画が見直される状況等にあることから、5疾病6事業等について、数値目標という形でお示しするのが難しく、定性的なものになる項目も多々あると思う。中期目標について、今後変更すべきものは変更していくという話があったが、中期計画についても、徐々に数値目標化していくという考えで良いか。
- 過去のデータがない最初の時点では仕方ないと思う。

評価委員会の意見の取りまとめ

- ・ 提示された中期目標（案）については、基本構想検討委員会での整理と同様に、5疾病別の記載とした上で、必要な修正を行うこととし、知事への答申については、審議の中での意見を踏まえ修正することとした箇所を補正したものを適当であるとする。
また、文章の表現等については委員長一任とし、事務局と調整を行う。

② その他

- ・ 次回の評価委員会は、来年1月31日（火）の午後2時から開催する。